同梱物を確認しよう

※ キック・ペダルは市販のものをお使いください。

このガイドの見かた

梱包箱から取り出して組み立てるとき 手順4と手順5でシンバル・パッドを取り付けます。

折りたたむとき シンバル・パッドを取り付けたままで折りたためます。

スタンドを広げるとき

手順4と手順5は不要です。

組み立て時のポイント

スタンドを組み立てるときは、大まかな位置に合わせて組み 立てを進め、全体が組み上がった最後に、パッドの位置や角 度を調節するとよいでしょう。

組み立て時のご注意

・ 安定性を維持するためにスタンドを 90 度以上外側には開かないでください。

・ シンバルをスタンドに取り付ける際には、セットアップ・ガイドの指示に従ってください。

※ タム 1 ~ 3 は、リム・ショットには対応していません。

- ・スタンドの折りたたみ、組み立て時には、可動部と本体の間に指をはさまないように注意してください。お子様のいる場所で使用する場合は、必ず大人のかたが監 視/指導してください。
- 接続ケーブルを無理に引っ張らないでください。 ・ スタンドの折りたたみ、組み立て時には、セットアップ・ガイドの手順とおりにしてください。パイプの折りたたみ方向を間違うと、接続ケーブルがパイプに絡ま
- る恐れがあります。 • シンバル・アームの伸縮時には、シンバルの取り扱いにご注意ください。降りてきたシンバルに指や手が当たり大変危険です。
- 折りたたみを繰り返していると、各部品のボルトがゆるんでくる場合があります。演奏の前にはボルト、ハンド・ノブにゆるみがないか確認してください。
- 折りたたんだ状態での持ち運びにはご注意ください。ペダル・プレートやハンド・ノブなどの突起に注意してください。
- ・ パイプやシンバル・ロッドの伸ばしすぎにご注意してください。抜けや落下の原因になります。

右側を広げる

ご注意!

・組み立て時には転倒にご注意ください。

スタンドのセッティングや収納するときは、可動部と本体の間に指をはさまないように注意して ください。お子様のいる場所で使用する場合は、必ず大人のかたが監視/指導してください。

6. パイプを伸ばし、タム2を正面にします。

ケーブルが張りすぎないようにしてください。

タムのボルトをドラム・

パイプを伸ばす前に、タム3のハ

パイプのハンド・ノブをゆるめて、

ンド・ノブをゆるめておきます。

🗛 の約 2 倍の長さまで伸ばしま 位置が決まったら、パイプのハン

ド・ノブを締めてパイプを固定し

※ タム 3 のハンド・ノブは、ゆ

るめたままにしておきます。

タム・アームを外側から回しま

ハンド・ノブを締めてタム・アー

タムのボルトをドラ

ム・キーでゆるめてか

ら起こし、タムの位置

を調節します。

タムの高さを調節します。

ムを固定します。

パイプを伸ばします。

キーでゆるめ、タム2を

5. タム 2 を起こします。

※ シンバルの付いたイラストで説明していますが、梱包箱か ら取り出して組み立てる(シンバルの付いていない)とき もこの手順に従ってください。

1. スネアを広げます。



ハンド・ノブをゆるめ、スネ アを広げます。 ※ ハンド・ノブはゆるめた ままにしておきます。

2. スタンドを広げます。

ハンド・ノブをゆるめ、90 度に開きます。



スタンドを広げたらハンド・ノブ

3. 音源マウントを広げます。

ハンド・ノブをゆるめ、音 源マウントを広げます。 ※ ハンド・ノブは、ゆる めたままにしておきま



7. タム3を起こします。

4. シンバル・ロッドを伸ばして起こします。



パッケージを開けたら、すべてのものが入っているか確認してください。不足している場合は、お買い上げになった販売店にお問い合わせください。

↑ セットアップ・ガイド(本書) プロ ンド ユーザー登録カード | シンパル・パッド □ パッド □ パッド・マウント (*1)スタンドに取り付け済み クラッシュ/ライド/ハイ スネア用 タム用×3 □ ドラム音源(TD-1) □ ドラム音源 □ 接続ケーブル □ AC アダプター □ パッド・マウント (*1)スタンドに取り付け済み ハット用(CY-5)×3 (PDX-8)(*1) (PDX-6)(*1)(*1) ホルダー(*1)(*1) × 4(*1)



左側を広げる

1. シンバル・ロッドを伸ばして起こします。



2. パイプを伸ばし、タム 1 を正面にします。

ハイハットのハンド・ノブをゆ るめてから、パイプのハンド・ ノブをゆるめて伸ばします。 位置が決まったら、パイプのハ ンド・ノブを締めてパイプを固 定します。 ※ ハイハットのハンド・ノブは **●** ゆるめたままにしておきま

ご注意! テーブルが張りすぎないように注 意してください。

3. タム 1 を起こします。

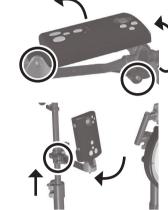
タムのボルトをドラム・キーでゆるめてから起こします。 タムの位置が決まったら、ボルトを締めて固定します。



4. ハイハットを移動します。



5. 音源を起こします。



6. 音源にケーブルを接続します。

※ 梱包箱から取り出して組み立てるときはこの手順は不要で 接続ケーブルを図のようにドラム音源に接続します。コネク

ターを奥まで差し込み、つまみを回して固定します。

音源と音源マウントのボルトを

ドラム・キーでゆるめ、音源を

位置が決まったら、ボルトを締

音源マウントを内側から回し、

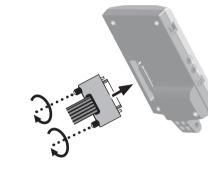
位置が決まったら、ハンド・ノ

図のような位置にします。

ブを締めて固定します。

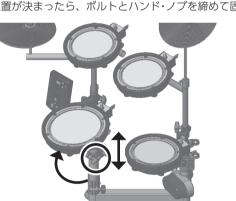
起こします。

りて固定します。



7. スネアを起こし、高さを調節します。

ボルトをドラム・キーでゆるめてスネアを起こし、ハンド・ノ ブをゆるめて高さを調節します。 位置が決まったら、ボルトとハンド・ノブを締めて固定します。





■ ハイハット・アームを回します。 ハイハットの高さを調節しま 位置が決まったら、ハンド・ノ



シンバルを取り付ける

ハイハットを取り付ける

イハットを取り付けます。

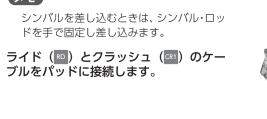
に調節します。

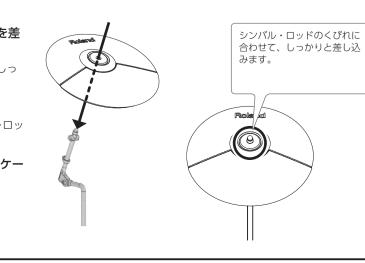
ドに接続します。

1. シンバル・ロッドの先端にシンバルを差 し込みます (2箇所)。 シンバル・ロッドのくびれに合わせて、しっ

かりと差し込んでください。

ドを手で固定し差し込みます。 **2.** ライド(ℙ) とクラッシュ(℡) のケー



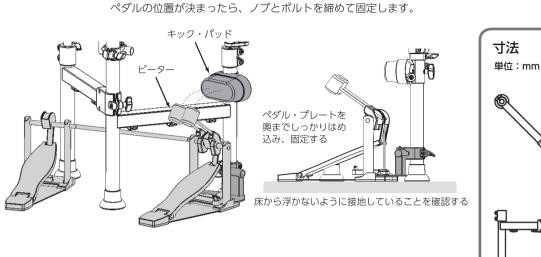


キックを取り付ける

※ キック・ペダルは市販のものをお使いください。

1. キック・ペダルを取り付けます。

キック・ペダルを踏んだときにビーターに当たるように、キック・パッドとペダルの位置を合わせます。 高さと角度を調整するキック・パッドのノブをゆるめてください。



ご注意!

・ 指をはさまないよう、十分注意して作業してください。 • 市販のキック・ペダルを使わない場合は、ペダル・プレートが床から浮かないように接地させ



ハイハット・コントロール・ペダルを取り付ける

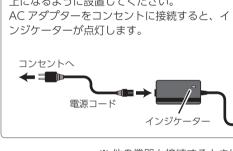
1. ハイハット・コントロール・ペダルを、ハイハットの下に置きます。

2. ハイハット・コントロール (++-) のケーブルを、ハイハット・コントロール・ペダ ルに接続します。



AC アダプターやスピーカーを接続する

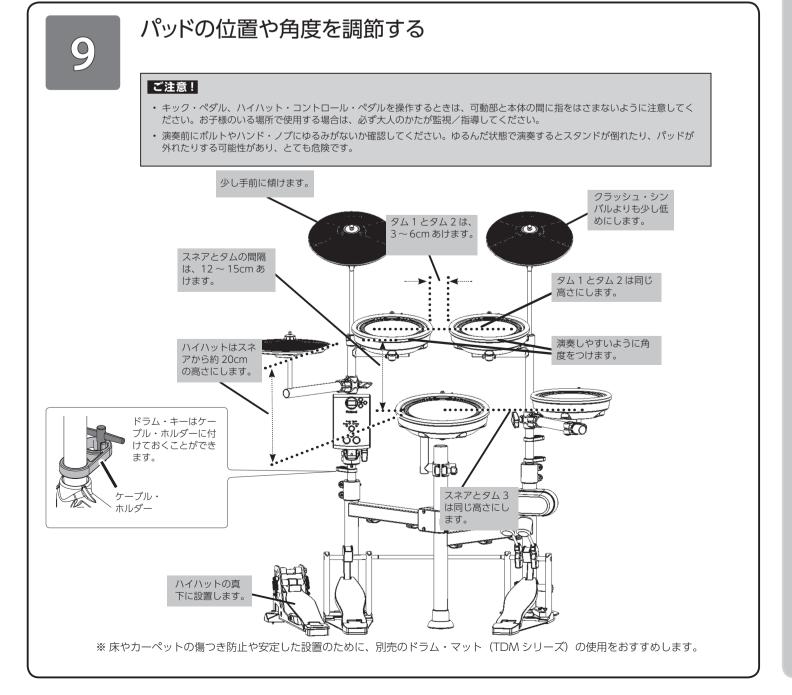
付属の AC アダプターを接続します。 AC アダプターは、インジケーターのある面が 上になるように設置してください。



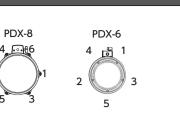
OUTPUT/PHONES 端子 音を出力します。アンプ内蔵スピーカー(別売) またはヘッドホン(別売)を接続します。

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切っ

※ AC アダプターのコードはケーブル・ホルダーに通してスタンドに固定してください。誤ってコードを引っ張って しまっても、プラグが抜けて電源が切れてしまうことや、AC アダプターの接続端子に無理な力が加わることを防







張り具合が均等になるように、各テンション・ボルトを少しずつ、図の順番で締めます。 ※ ヘッドの張り具合の調節は、打感触を調節するもので、アコースティック・ドラムのように 音の高さを調節するものではありません。

■ ハイハット・コントロール・ペダルを調節する

アンカー・ボルトの使いかた

ドラム・マット(TDM シリーズ)またはカーペットの上で使 用するときは、アンカー・ボルトを出して使うと、本機が固定 され、演奏しやすくなります。

床の上に設置



カーペットの上に設置

に注意してください。

※ フローリングなどの床の上でアンカー・ボルトを使用する と、床を傷つける恐れがあります。 ※ アンカー・ボルトの先端はとがっていますので、取り扱い

上側のフックをはずします。 再び取り付けるときは、上側の フックから取り付けます。

スプリングで調整する

ださい。

下側のフックをはずします。 | フィーリングの調整で、騒音/振動の大きさが変わります スプリングをはずすと、演奏時の騒音/振動が大きくなります。

左右のスプリングどちらか 1 つをはずして、

※ スプリングの取りはずし/取り付けをする

ときは、指などをはさまないようご注意く

フィーリングを軽くすることができます。

ご注意ください。	C、	り融百/ 拡動	別か入さく
スプリング	2個	1個	
E又立: / +巨禾h	ds	+	

スプリング	2個	1個
騒音/振動	小	大
フィーリング	重	軽

■ 接続ケーブルを接続し直す

※ プラグは確実に奥まで差し込んでください。

※ ケーブルは演奏の邪魔にならないようにケーブル・ホルダーに通してください。ケーブルをケーブル・ホルダーに通すときは1本ずつ通してください。

1 接続ケーブルをドラム音源に取り付けます。

ケーブルには、接続するパッドを示したシールが貼られています。

2. ケーブルをパッドに接続します。 1. 図のようにケーブル・ホルダー ❶ にハイハット(罒)、タム1(ㄲ)、クラッシュ(☞)のケーブルを通して、ケーブルをパッドに

2. 残りのケーブルを、ケーブル・ホルダー 2 に通します。

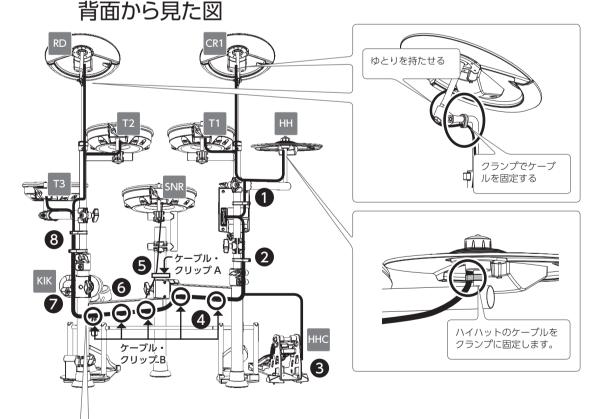
3. ハイハット・コントロール(トルト) ③ のケーブルを、ハイハット・コントロール・ペダルに接続します。 **4.** 付属のケーブル・クリップ B(2 つ)に残りのケーブルを挿入して、図の ❹(2 箇所)の位置に取り付けます。

5. スネア (SNR) のケーブルを付属のケーブル・クリップ A 5 で固定して、パッドに取り付けます。 **6.** ケーブル・クリップ B(3 つ)に残りのケーブルを挿入して、図の **⑤**(3 箇所)の位置に取り付けます。

7. キック・パッド (̄ ̄) 2 のケーブルを、キック・パッドに接続します。

8. ケーブル・ホルダー ③ に残りのケーブルを通します。

9. タム2(12)、タム3(13)、ライド(№)のケーブルをパッドに接続します。 10. ライドとクラッシュのクランプの位置を確認して、図のようにケーブルを通します。





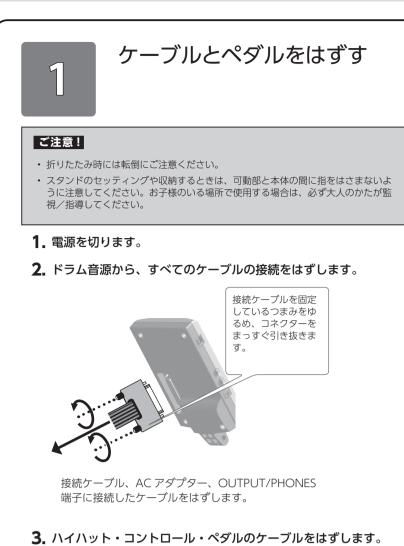
ご注意! ァーブル・クリップ B を取り付けるときは、スタンド 底面の穴に指を入れないようご注意ください。エッジで 指が傷つき、けがをする恐れがあります。

ご注意! スタンドの後ろを通すと、収納時にケー ブルをはさみ込んでしまい、断線の原 因になります。

スネアのケーブルは、スタンドの前からス

ネアに接続します。









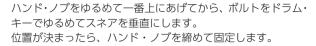


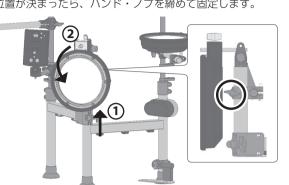
4. キック・ペダルをはずします。



左側をたたむ

1. スネアをたたみます。





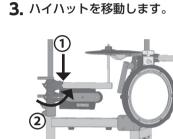
2. ドラム音源をたたみます。



音源と音源マウントのボル トをドラム・キーでゆるめ、 音源をたたみ垂直にしま を締めて固定します。

位置が決まったら、ボルト ハンド・ノブをゆるめて音 ■■ 源マウントを内側から回

し、一番下まで下げ、図の ような位置にします。 ※ ハンド・ノブはゆるめ たままにしておきます。



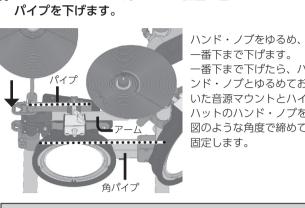
ハンド・ノブをゆるめ、パイ プを外側から回して図の位置 に合わせます。 ※ ハンド・ノブはゆるめたま まにしておきます。

4. タム 1 をたたみます。

タムのボルトをドラム・キーでゆるめてから垂直にします。 タムの位置が決まったら、ボルトを締めて固定します。



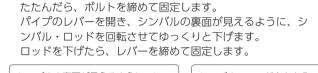
5. アームをスタンドの角パイプの位置に合わせながら、

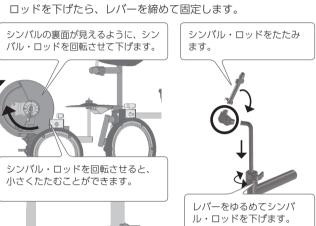


一番下まで下げたら、ハ ンド・ノブとゆるめてお いた音源マウントとハイ ハットのハンド・ノブを 図のような角度で締めて 固定します。

ご注意! パイプを下げるときに、ケーブルをはさまないように注意してくだ

6. シンバル・ロッドをたたみ、下げます。 シンバル・ロッドのボルトをドラム・キーでゆるめ、シンバ ルをたたみます。

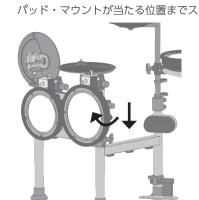




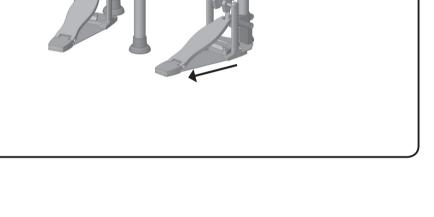
7. スネアをたたみます。

© 2017 ローランド株式会社

ハンド・ノブをゆるめてスネアをタムの向きにそろえてから、 パッド・マウントが当たる位置までスネアを下げます。



※ ハンド・ノブはゆるめたままにしておきます。





ク・ペダル取り付けプレートを内側に回します。



位置が決まったら、ハンド・ノブを締めて固定します。

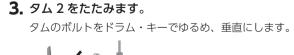
2. タム3を回転させてから、たたみます。 タムのノブをゆるめ、外側から回転させます。 タムのボルトをドラム・キーでゆるめてから垂直にし、タム・



アームの先まで寄せます。

ハンド・ノブをゆるめてタム・ アームを外側から回し、一番下 まで下げます。 ※ ハンド・ノブはゆるめたまま

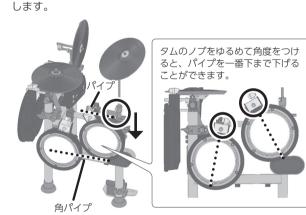
にしておきます。





1. ハンド・ノブをゆるめ、キック・パッドを外側に、キッ **4.** アームをスタンドの角パイプの位置に合わせながら、 パイプを下げます。

ハンド・ノブをゆるめ、一番下まで下げます。 タム 2、タム 3 とキック・パッドが収まるように位置を調整



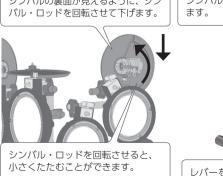
一番下まで下げたら、パイプのハンド・ノブと、ゆるめてお いたタム3のハンド・ノブを締めて固定します。

パイプを下げるときに、ケーブルをはさまないように注意してくだ

5. シンバル・ロッドをたたみ、下げます。 シンバル・ロッドのボルトをドラム・キーでゆるめ、シンバ

ルをたたみます。 たたんだら、ボルトを締めて固定します。 パイプのレバーを開き、シンバルの裏面が見えるように、シ ンバル・ロッドを回転させてゆっくりと下げます。 ロッドを下げたら、レバーを締めて固定します。

シンバルの裏面が見えるように、シン



シンバル・ロッドを回転させると、 小さくたたむことができます。



